

平成 20 年 9 月 24 日

古紙パルプ配合率管理システムの適切な運用を確認 ～ 第三者機関・アマタ株式会社による監査を実施～

弊社は、本年 2 月 20 日付けで発表しました「古紙配合率の乖離についての原因と再発防止対策の報告書」に基づいて、三島工場において日本製紙連合会が定めたガイドライン「古紙パルプ等配合率検証制度」に則り「古紙配合率管理規定」を策定し、4 月 1 日より運用を開始しました。このたび、7 月 28 日、29 日に従来の弊社 ISO 認証などの監査機関とは異なるアマタ株式会社によるシステム監査を受け、「古紙配合率管理システムがアマタの定める古紙配合率管理規格に適合して構築・運用できていることを認証する」との適合認証書(認証発効日：平成 20 年 8 月 26 日)を取得しました。

< アマタ株式会社による監査項目 >

1. 文書化された古紙パルプ配合率の管理手順
2. 古紙パルプ配合率管理に関する責任者と権限の明確化
3. 古紙パルプ配合率の計算手順と実績および記録の確認
4. 古紙パルプ配合率に見合ったラベルの発行手順と実績の確認
5. 包装・加工を担当する関連会社に対する管理体制
6. 製品の保管管理体制

弊社は、今後も定期内部監査とあわせて、来年度以降も毎年、第三者機関のシステム監査を継続して受審することにより、古紙配合率管理システムを維持・向上し、取引先、消費者等の皆様に安心してご使用頂ける製品を生産、販売していく所存です。

なお、引き続き、弊社グループは古紙使用量の増大、植林面積の拡大と森林保護など地球環境保全に資する活動に積極的に取り組んで参ります。

アマタ株式会社

アマタ株式会社は、森林認証をはじめ国際的に認証事業を展開する F S C 認定のイギリスの認証機関 S A (Soil Association Woodmark) および、アメリカの認証機関 S C S (Scientific Certification Systems)社と提携して、1999年9月から日本国内で初めて F S C 森林認証サービスを開始しました。日本で F S C 認証を取得している 25 箇所の認証林(面積 279,450ha)中、16 箇所(同 210,853ha)の審査を手掛けている会社です。

以上